

地域包括支援センターだより (ええげえし)

「ええげえし」＝「相返し」秩父地域の方言で「助け合う・支え合う」ことを意味します。

第20号 (年4回発行)

H27. 3. 1発行

《編集発行》

皆野町地域包括支援センター

皆野町大字皆野1420-1

電話 62-1233

題字:書道クラブ「若竹」 中川 雅代 様

4月から大きく変わる介護保険制度

★地域包括支援センターが考えていること (取り組み方針)

考え方① できるだけ自立した生活を支援(町民自ら介護予防・健康増進)

考え方② 住み慣れた自宅や地域で最後まで(地域包括ケアシステム)

考え方③ 少子高齢社会に耐える制度(健全な介護保険制度運用)

変更点① 自己負担:1割⇒2割 今年8月から適用

(年金収入280万円以上の方)

変更点② 要支援認定者の介護予防サービス:全国一律⇒市町村基準

平成28年4月から適用

(町に合ったサービス又は事業の種類・量で実施、秩父地域全体で調整)

変更点③ 特別養護老人ホーム入所は原則「要介護3」以上から

今年4月から適用

◎詳細な変更点を次号から随時、「ええげえし」でお伝えしていきます。

手渡し詐欺に気をつけましょう

2月3日（火）、長生荘で行われた「ふれあい広場」にて、埼玉県警察本部の「防犯指導班ひまわり」、秩父警察署の警察官より、防犯や交通事故防止について劇やお話がありました。特に、振り込め詐欺は、平成26年埼玉県1158件、約32億円も被害にあっています。秩父管内でも5290万円の被害。「私は大丈夫。」という思いこみは危険です。最近は、銀行やATMは怪しまれるため、自宅や近所まで現金を受け取りにくるようです。絶対に、知らない人には現金を手渡さないようにしましょう。



《高齢者の交通事故予防について》

夕方の暗がりでの歩行、道の横断は、自動車から見えにくく、とても危険です。黒っぽい服装は避け、反射板などを利用しましょう。



《春は還付金詐欺が増えます》

役場から「保険料、税金が戻ってきます。」と電話があり、ATMで操作していると、逆に相手の口座にお金を振り込んでしまう結果に。誘導されないようにしましょう。

シリーズ 地域の絆

「三沢交流会」

2月5日（木）三沢農業集落センターにて開催された交流会を取
材しました。近ごろ流行っている「ちちぶお茶のみ体操」で楽しく
運動、お昼（手作りみそを使用したけんちん汁）を食べた後、「認
知症予防と対策」について勉強しました。小雪の降る中、22名の
方が参加しました。「歩いて来られる場所なので・・・」「ひとり暮
らしなので・・・」「運動の機会がほしくて・・・」など、動機はい
ろいろ。このような交流会が『身近にできる。』って素晴らしい。



【写真】：みんなで体操している様子（できる範囲で無理しないでね～）
取材班より⇒あったか汁おいしかったです。ごちそうさまでした。

<お知らせ>

「介護者のつどい」について

日 時：平成27年3月16日（月）午前10時～11時30分

場 所：皆野町役場 2階 和室

内 容：「座談会」と「リラックス体操」

講 師：介護予防運動指導員 根岸三枝子 先生

参加費：無料

定 員：10名

申込み・問い合わせ：皆野町地域包括支援センター（健康福祉課内）

電話62-1233

地域包括支援センターはこんな仕事をしています

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが住み慣れたところで安心して自立した生活が続けられるようにお手伝いします。

介護保険サービスの利用方法、介護予防、認知症相談、保健・障害者・高齢者福祉、権利擁護、そのほか生活に関する不安や悩みなどいろいろな相談に応じます。気軽にお電話・ご来庁ください。

高齢者のよろず相談所

皆野町地域包括支援センター（健康福祉課内）

電話 62-1233 内線 115・116

【編集後記】

今から15年後の町の姿。ご年配先輩方「わたしゃ、もういねえや。」なんて言わないで想像してみてください。厚労省資料の町の将来推計人口は、総人口8,200。高齢化率40%。生産年齢人口（15～64才）との比率1：1.3。肩車社会は目前まで迫っています。『介護保険料はどんどん値上がり』『医療介護専門職は常時不足』など、それにどのような策を打つか、職員みんな毎日らめっこしています。（全力ですよ。）

1面トップ記事の当センターの取り組み方針のように、ひとつには、みなさん自ら介護予防や健康維持に努め、病気や要介護になっても重度化を予防すること（介護保険法4条規定）。ひとつには、医療介護職の連携や住民同士の支え合い（地域包括ケアシステム）。ひとつには、認知症の方の理解を進めること。ひとつには、医療介護職の人材育成は小中学生や高校生の頃から。それから・・・そうそう、困ったときの頼れる相談相手＝地域包括支援センター職員の強化（手前みそですね（^o^））。ほかにもいろいろ考えていますが、ぜひ、みなさんからの前向きで建設的な意見や考えを求めます。主人公はみなさんですよ。

介護支援専門員 新井 康弘